

最新の.NETアーキテクチャ「AgilePoint BPMS Ver4.0」の発売

アセトン株式会社(東京都港区、本社:米国カリフォルニア州)は、本年8月より Microsoft Office system 2007に対応したエンタープライズ向け業務プロセス構築ソフトウェア「AgilePoint BPMS Ver4.0(32bit/64bit)日本語版」の出荷を開始いたしました。AgilePointは、マイクロソフトの.NETフレームワーク上で提供する代表的なエンタープライズ向けノンプログラミングBPMS(ビジネス プロセス マネージメント システム)です。また、アセトン社は、米ガートナーITシンポジウム(本年)に於いてクールベンダーレポートに完成度の高いBPMSを提供する企業として紹介されていると共に、日本市場に於いても高いご評価をいただいております、新バージョンの発売を機に更にダイナミックな活動を展開して参ります。

新バージョンでは、マイクロソフト SPS2007、Office2007、BizTalkの新しい製品の機能並びに設計思想をダイレクトに展開させることにより、更に幅広い業務プロセス定義に対応し、プロセスの実適用までの期間は短期間で構築が可能です。例えば、業務プロセスを描写する際、クライアント側のマイクロソフトOfficeアプリケーションで作業を行いますが、その場ではインタラクティブな処理は行われず、ファイルに落とし渡しているのが一般的な流れです。この流れに対し、クライアント側のデスクトップで使われているOffice環境をそのまま業務プロセス上で利用できるようにしたのがAgilePointBPMSです。業務プロセスデザイナーであるクライアントが理解できる環境で、あらゆる業務プロセスの構築、実装、運用、評価、修正を非常に早いサイクルで的確に遂行することが可能です。

一方、一般的に企業で使用されている既存ワークフローツールを、実態に沿った業務プロセスに変更しようとした時、ITスキルが高いエンジニアによりコンパイルが必要となるか、ツール提供ベンダーに任せる以外に手段はありませんでした。AgilePoint BPMSはクライアントのプログラミングのスキルは不要で、誰でも簡単に業務プロセスをモデリングから実適用、そして改善や管理を行うことで企業内の生産性向上に最も適したソリューションといえます。

特にマイクロソフト SPS2007(MOSS)の設計思考である「ECM」をダイレクトにAgilePoint上で展開することで、SPSの狙いである「生産性の向上」と「管理の効率化の両立」の効果はあらゆる業務プロセスに即効し企業内情報の共有化と可視化を促進します。これは、SPS2007が持つ様々なコンテンツ メタデータやDIPメタデータ、ライブラリー情報としてのコンテンツ タイプやリストをAgilePointの業務プロセス上で展開し、Webサービス(SOA)により双方のタスク表示や管理の一元化を備えた完全なコラボレーション・スイートを実現したからです。そして、AgilePoint業務プロセスからBizTalkを起動し、BizTalkの様々なアダプティング機能を利用して、あらゆるシステムデータをヒューマンワークフローに取り込むことが可能です。また、Office2007はオープンXMLスキーマに対応していることからユーザーインターフェースの構築に柔軟性と多様性を備えております。

このようにAgilePointBPMSは、マイクロソフト製品の特徴をあらゆる面で強化した業務プロセスの構築を可能にし、Human to Human、System to System、そして既存ソリューションでは実装できなかったHuman to Systemのニーズを実現できる企業のビジネス プラットホーム ソリューションを目的として開発いたしました。

◇AgilePoint BPMSスイート構成

AgilePointBPMSは、「Server」「Developer」「Enterprise Manager」「Envision」「AgilePart」で構成されるスイート製品。

Server: 「.NET」、Webサービス(SOA)、XMLと云ったテクノロジーが終結されたプロセス実行・管理用のエンジン。

Developer: マイクロソフトVisual Studio.NETとの高い親和性を持った開発環境で、Visual Studioが提供する.NETクラスライブラリを提供。

EnterPrise Manager: AgilePoint Serverで運用される全プロセスとユーザ情報の管理、監視を行うデジタルダッシュボード。

Envision: マイクロソフトVisioにアドオンしたプロセスデザイナー機能

AgilePart: カスタマイズパーツ、既存のIT資産を有効利用するための再利用可能なコンポーネント

他にマイクロソフト製品との連携モジュールを多数ご用意しております。

◇価格

価格: 161万円(スタート・エディション:1CPU、5プロセステンプレート)より

◇本件に関する問合せ

アセントン株式会社

TEL) 03-3504-8178

e-mail) japan@acsentn.com